
トヨタグループ3社、 統合の主要条件を基本合意

トヨタ自動車株式会社

専務役員 白根武史



コンパクト車づくり 世界No.1を目指して

2011年12月14日

関東自動車工業 セントラル自動車 トヨタ自動車東北 トヨタ自動車

1 統合新会社の概要

2 統合新会社の目指す姿

統合新会社の概要

商号(社名)	トヨタ自動車東日本株式会社 (とよたじどうしゃひがしにほん) TOYOTA MOTOR EAST JAPAN , INC.
代表者	取締役社長 白根 武史
本店所在地	宮城県黒川郡大衡村
合併形態	関東自動車工業を存続会社とし、 セントラル自動車とトヨタ自動車東北を吸収合併
合併期日	2012年7月1日 (当初予定通り)
資本金	68.5億円

統合に向けたスケジュール

2011年

12月14日

「統合基本契約」の締結

2012年

1月1日(予定)

トヨタ自動車による
関東自動車完全子会社化

2012年

4月頃(予定)

「合併契約」の締結

2012年

6月頃(予定)

各社株主総会にて合併契約承認

2012年

7月1日(予定)

合併効力発生【統合新会社発足】

1 統合新会社の概要

2 統合新会社の目指す姿

2. 統合新会社の目指す姿

■ 統合新会社の設立の背景

■ 統合新会社の位置付け

■ 統合新会社の重点取組み



トヨタグループ総合力強化に向けて

現地化を進めながら、国内から次世代のクルマ・技術を世界に発信

■お客様の求める商品を
タイムリーに・効率的に提供



お客様に近い所で作る
現地化を着実に推進

更なる競争力強化に向けて

■次世代車の開発
■新技術・新工法などを通じ
モノづくりの実カレベルアップ



強い現場力、革新技術力など
日本の強みを活かし、
次世代のクルマ・技術を発信
⇒日本のモノづくりを死守

トヨタグループの体制の見直し

グループの強みを最大限に引き出せるよう役割・体制を見直し

国内3極
生産体制
【オールジャパン】

■中部・九州・東北の3極体制の構築

〔中部〕新技術・新工法などイノベーション開発

〔九州〕ミディアム系・レクサス系のクルマづくり

〔東北〕コンパクト車のクルマづくり

■全国の仕入先などと一体となり競争力強化

機能の
強化・拡大
【オールトヨタ】

■得意車種を中心に 企画～開発～生産を主体的に担当

■トヨタの海外事業展開にも参画

2. 統合新会社の目指す姿

■ 統合新会社の設立の背景

■ **統合新会社の位置付け**

■ 統合新会社の重点取組み



統合新会社の設立

東北から競争力のあるコンパクト車を提供するために、
関東自動車・セントラル自動車・トヨタ自動車東北が統合

関東自動車

- ・開発から生産まで
スルーでの車両
- ・改善力・現場力

'93年～関東自動車(岩手工場)

セントラル

- ・少スペース・少中量での
車両生産
- ・設備エンジニアリング力

'11年～セントラル(宮城工場)

●ユニットから車両まで
リーンでフレキシブルな生産体制

●開発、生産技術、生産が一体となった
クルマづくりの改善・改革

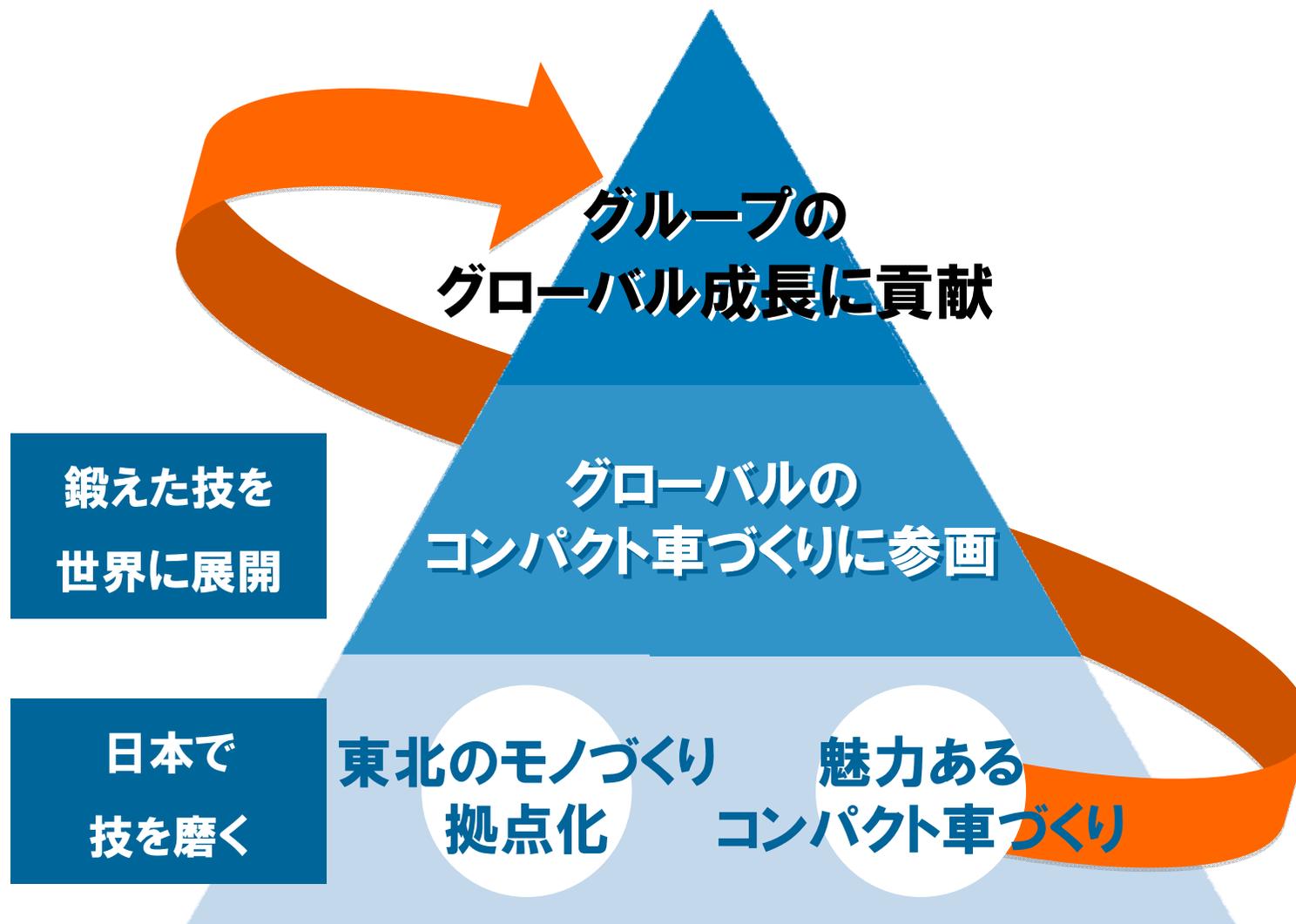
トヨタ東北

⇒お客様のニーズにきめ細かく応えた
世界No.1の魅力あるコンパクト車の提供

'98年～トヨタ東北

統合新会社の目指す方向

コンパクト車づくりを通じ、グループ全体のグローバルな成長に貢献



統合新会社の思い

東北への 思い

東北の地に根付き、地域と一体となったモノづくり
を通じて地域の一員として愛される企業市民となる

コンパクト車 への思い

最も競争の厳しいコンパクト車においても、
**高技能と革新技術力を融合し、商品力・技術力・
コストで競争力**のあるクルマを日本で産み出し続ける

グローバルの コンパクト車 づくりへの思い

日本で鍛えられた技を活かし、
トヨタのグローバルのコンパクト車づくりの
開発から生産までを日本からリードし続ける

2. 統合新会社の目指す姿

■ 統合新会社の設立の背景

■ 統合新会社の位置付け

■ **統合新会社の重点取組み**



統合新会社の強化の進め方

「東北から世界No.1の魅力あるコンパクト車を提供」する為に実力強化

①コンパクト車づくり基盤構築

②地域と一体となったモノづくり

③中長期を見据えた人づくり

重点取り組み【①コンパクト車づくり基盤構築】

コンパクト車でも
収益を出せる
経営体制

コンパクト車
づくりの実力強化

■モノづくりの基本の徹底

- ・環境、安全、品質への拘りとチームワーク

■リーンで堅実な経営

- ・現有的人・建屋・設備の最大活用
- ・開発から生産まで前後工程の仕事を理解し、自身のコア業務を進めていける人材の育成

■技術力の強化

- ・企画提案～アンダーボデー、足回りなど

■モノづくりの実力向上

- ・ベース車～派生車のシリーズでの効率的・スピーディーな開発
- ・コンパクト最適な新技術・新工法開発

重点取り組み【②地域と一体となったモノづくり】

東北の地域と一体となった取組みを推進

■東北現調化センターの設置

- ・地域企業と一体となって
域内調達強化

- ・2012年1月開設
- ・本店に設置

■技術センター東北の強化

- ・現状組織を強化し、
産・学・官の連携強化により、
新技術・新部品の開発推進

取組みの例



エンジン関係部品

部品展示会

’11年10/6～7開催

194社参加

164品目

重点取り組み【③中長期を見据えた人づくり】

モノづくり人材育成を通じ中長期的に地域振興にも貢献

トヨタ東日本学園の設立

本店内に企業内訓練校設立

- ・2013年4月開校
- ・30名／年程度
(地域企業からも受入)



コンパクト車づくり 世界No.1を目指して



トヨタ自動車東日本株式会社



ご清聴ありがとうございました。